

ナミビアだより

Mpandu(パンドウ) インタラ・コンバインド・スクール

2018年度1次隊 青年海外協力隊 酒井 剛祐

宇品小学校のみなさん お久しぶりです

宇品小学校のみなさん、そしてわかば学級のみんな、お元気ですか？宇品小学校では、長い夏休みが終わり、新しい学校生活が始まっていると思います。すぐには慣れないと思いますが、少しずつ元の生活に戻れるようにしていきますね。

ところで、3月の離任式で真教頭先生が、「酒井先生はアフリカのナミビアという国に行きます。」と言ったことを覚えていらっしゃいますか？

あれから、5カ月が過ぎ、私は今ナミビアの学校で青年海外協力隊のボランティアとして働いています。

4月から6月までは、福島県の二本松市という場所で、英語と外国のことについて勉強をしていました。全国から様々な技能を持った人たちが181名も集まり、一緒に訓練を受けました。

7月にナミビアに来て、ウイントフック(首都)の学校で授業をしたり、新しく働く学校への挨拶を行ったりして、8月にここインタラ・コンバインド・スクールで働くことになりました。

私は2020年の3月まで、こちらの学校で算数と理科を教える先生として働きます。これから毎月、ナミビアのことを少しでも皆さんに知ってもらうため、「ナミビアだより」を送ろうと思います。題名は、Mpandu(パンドウ)にしました。意味は、「ありがとう」という意味です。この通信を読んでもくれた人、そこから何かを考えてくれた人、そして私に色々なことを教えてくれるナミビアの人々や自然に対して、感謝の気持ちを持ちたいと思い、この題名にしました。時間がある時でよいので、少しでも読んでもらえるとうれしいです。



(同じナミビアに行く仲間)

酒井先生は何をするためにナミビアに行っているの？

青年海外協力隊って何？



私は今年の4月から青年海外協力隊として活動しています。青年海外協力隊は日本の国に進めているボランティア活動の一つで、開発途上国(分かりやすくいうと「貧しい国」)の発展のために支援活動を行っています。

酒井先生は「人に何かを教える」という自分の得意なことを活かして、「小学校教育隊員」としてナミビアで活動しています。その他にも、「スポーツ隊員」(野球、サッカー、柔道)、「衛生隊員」(水や食べ物をきれいにしたり、病気にならない方法を伝えたりする)など、自分の得意なことに合わせて、世界の様々な国で活動することが出来ます。



(野外訓練で竹を切りました)



(英語で算数の授業をしました)



(この班で2か月間協力して過ごしました)

ナミビアってどんな国？

酒井先生の働いている学校

- ・位置：アフリカ大陸の南の方
- ・国の面積：約80万k㎡（日本の約2倍の面積）
- ・人口：約200万人

（広島県の人口は約280万人なので、広島県よりも人の数が少ないです）
 ※人口密度は約2人/k㎡（元宇品くらいのに2人が住んでいる感じですよ）

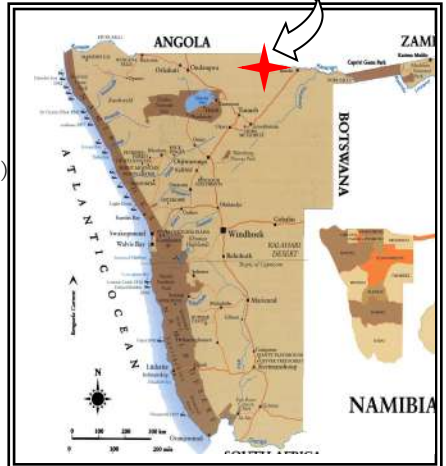
・国旗



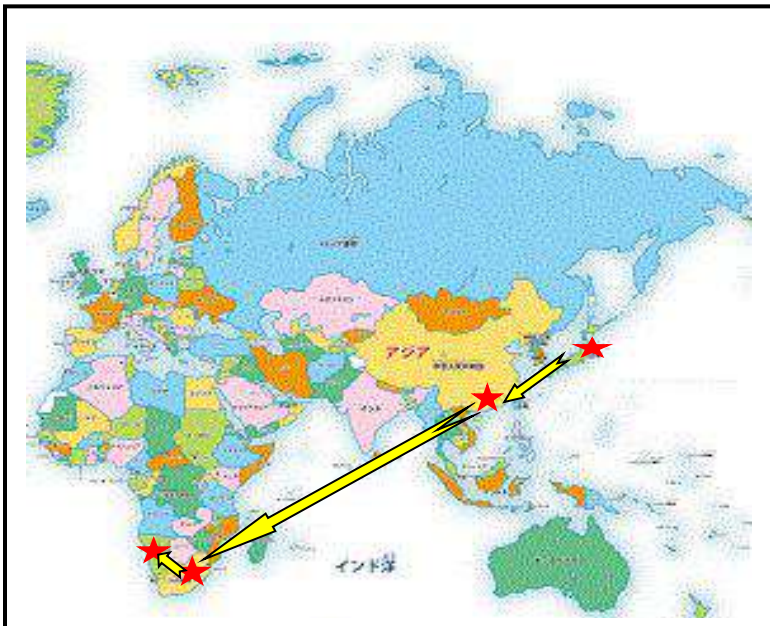
青空、海、雨
 黄色：太陽、鉱物資源
 とげの数：部族の数
 白：平和と統一
 赤：独立戦争で流された血
 緑：自然、農業

・歴史

今より100年以上前に「ドイツ」によって、植民地として支配されていました。その後、今度はナミビアの南にある「南アフリカ共和国」に長い間支配されましたが、1962年にSWAPO（スワポ：ナミビアを独立させようとする組織）を立ち上げ、1990年に独立を達成し、「ナミビア共和国」ができました。今年で誕生して28年目になる、非常に若い国です。



★広島からナミビアへの行き方を教えます（約2万kmも離れています。地球一周の半分くらいです）



- ① 広島県から東京都へ新幹線で出発
- ↓
- ② 千葉県の成田空港を飛行機で出発
- ↓
- ③ 中国の香港（ホンコン）で飛行機を乗りかえます
- ↓
- ④ 南アフリカ共和国のヨハネスブルクで飛行機を乗りかえます
- ↓
- ⑤ ナミビア共和国の空港に到着
 （飛行機を待つ時間を入れると、48時間（2日間）以上はかかります。
 ※行ってみたい人はお母さんやお父さんにお問い合わせしよう。（*^▽^*）

★テレビでも紹介されました！

「世界の村で発見！こんなところに日本人」という番組で、ナミビア共和国のことが紹介されました。同じ青年海外協力隊の野元さんと永瀬さんが、お笑い芸人の千原せいじさんからインタビューを受けました。



次回は町や学校のようすをのせます。お楽しみに!!